

ねらい

小学校と保育園が足並みをそろえ、家庭の教育力の向上と保護者の教育的関心を高めることは大変意義があることだと考える。そこで、小学校教員が保育園の懇談会に出席し、保護者に直接話をするすることで、入学前の保護者の意識や関心を高め、今後の子どもへの関わり方等についても考えてもらう機会にする。

ポイント

初めての取組であるため、小学校が就学前の保護者に対して伝えたい内容を吟味し、新1年生ができるだけスムーズに小学校生活をスタートできるよう保護者の不安等も解消していくことから始めた。

- ・保護者に新入学児童の手続きについて知ってもらうことで、スムーズに入学届の提出を行えるようにする(地域の実態から必要なこと)。
- ・保護者に小学校の教育課程や本校の教育方針、具体的な取組を知ってもらうことで、小学校生活に少しでも安心感が生まれるようにする。
- ・小学校への質問を自由にしてもらうことで、少しでも保護者の不安を解消する。

実践内容

- ① 主幹教諭と教務主任が保育園を訪れ、入学説明会で話す内容をプレゼンテーションソフトに簡単にまとめ、保護者に向けて講話した。

内容 「本校の教育方針」
「本校が大切にしたいこと」
「各家庭に協力してほしいこと」



- ② 本校の学力向上の取組、特にGIGA端末を用いた学習(ミライシードなど)について説明。
- ③ 入学手続き、今後の予定について説明。
⇒プレゼンテーションソフトを用いて、具体的に入学届の書き方も説明し、好評であった。
- ④ 質疑応答
⇒質問内容としては、GIGA端末についての質問が比較的多かった。



成果と課題

【成果】

- ・新入生保護者からは、「入学事務を担当する方の顔を知ったことで少し安心した」「具体的に入学届の書き方や提出方法を知ることができてよかった」という声があった。
- ・小学校側としても、自由参観の告知ができたことにより、実際に自由参観に足を運んでいただくことができ、学校の様子を知ってもらう機会になった。また、質疑応答の時間をとることで、たくさんの質問に答えることができ、保護者の不安を取り除くことにつながった。
- ・年長の担当の保育者の方にも参加いただいたことで、職員間研修のきっかけとなった。

【課題】

- ・講話の内容が、入学説明時に話す内容とも重なるところが多々あり、改良の余地がある。
- ・今回の取組は1つの保育園のみだったので、今後他園にも広げていくことを視野に入れて考えたい。